

# 増刊号 かつらだより

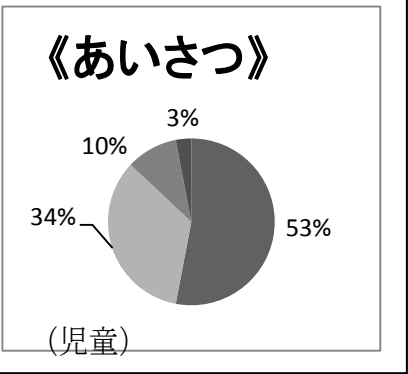
## 《前期》学校評価の結果より

平成26年10月10日  
京都市立桂小学校  
校長 島田 京子

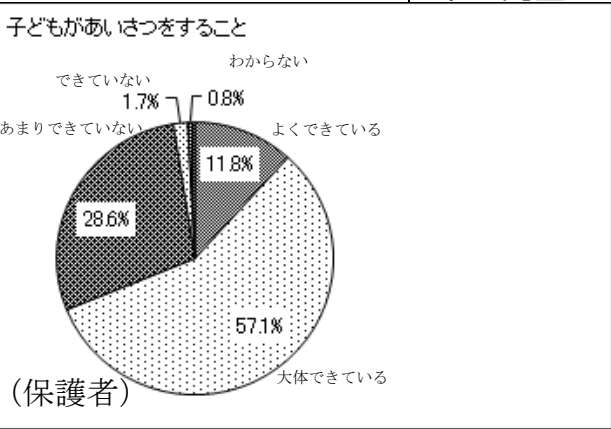
回収率 児童100% 保護者93%

日頃は、本校教育の推進にあたり、ご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。保護者の皆様には、アンケート形式で前期の学校評価をして頂きました。今回は回収率93%（昨年度後期82%）と多くの回答をいただきました。集計結果をもとに、学校運営協議会の理事会を開き、児童の自己評価と合わせて、理事の皆様よりご意見（学校関係者評価）をいただきました。学校評価の結果と話し合われた内容等について報告いたします。

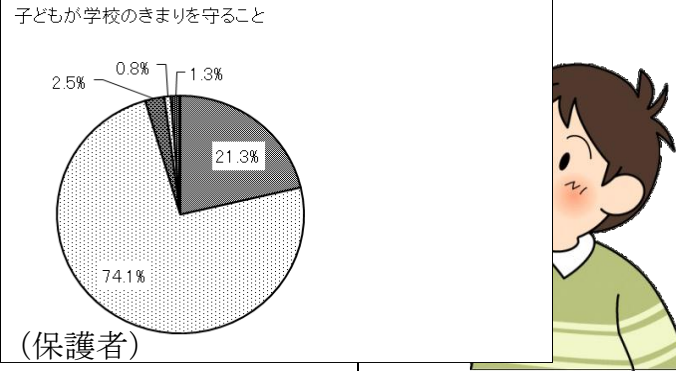
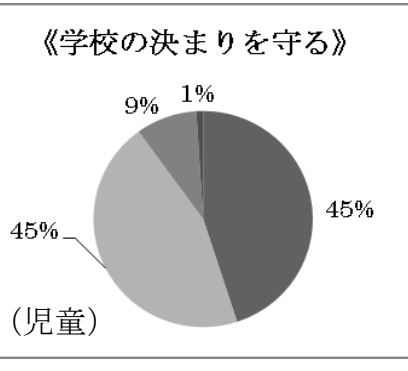
《児童の自己評価》				
問題文	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
授業は楽しい。	49.8%	39.1%	10.0%	1.1%
授業はよくわかる。	61.0%	30.5%	7.1%	1.5%
毎日、家庭学習をしている。	62.1%	21.1%	12.5%	4.3%
家で読書をしている。	51.9%	22.3%	18.2%	7.6%
あいさつをしている。	53.7%	33.7%	9.8%	2.9%
学校のきまりを守っている。	45.4%	45.1%	8.8%	0.7%
学校は楽しい。	64.4%	25.3%	6.6%	3.8%
友だちやまわりの人を思いやり、大切にしている。	56.5%	37.5%	5.0%	1.0%
運動するようにしている。	59.5%	28.2%	8.6%	3.7%
先生に質問や相談しやすい。	41.4%	36.1%	15.6%	6.9%
学校の行事を楽しんでいる。	70.7%	21.9%	4.0%	3.4%
地域の行事に参加している。	55.8%	25.5%	11.0%	7.7%



《あいさつについて》  
児童の自己評価の「できている」が昨年度後期は、82%であったのに対し、本年度前期は、87%と増加しています。しかし、朝の登校の様子からもあいさつがしっかりとできる児童が多いとはまだまだ言えない現状です。  
保護者の方の評価「できている」は、68%と児童の評価と大きな差があります。依然として児童はあいさつをしているつもりでも相手を見ていないことが考えられます。また、あいさつを重要だと思うが実現はされていなくておられる方が多いです。  
「ありがとうございます」のあいさつから「おはようございます」のあいさつへと進みます。家庭、地域、学校が一体となり、みんなであいさつができるようにしていきたいと思います。学校でも、日々の声かけ、朝会、児の呼びかけ、「にこにこの日」などの取り組みを進めていきます。



《学校のきまりを守る》について  
学校で集団生活をする中で、皆が気持ちよく過ごすために最も重要なことが「きまりを守ること」です。「できている」と答えた児童は、昨年度後期83%、本年度前期90%と大幅に増加しています。これは、学校や授業が楽しいと思う児童の割合と同じぐらいになっています。日常生活に充足感をもてることが、子どもが本来もつ規範意識を引き出すことになると考えます。今後も「時間を守る」「スリッパをそろえる」「名札をつける」「ろうかを走らない」など、毎月の生活目標を具体的にあげ、クラスでも振り返り、意識を高くもてるように引き続き取り組んでいきます。



# <保護者評価>

「できている」が増えました。

多い  
↑  
実現できていると思う  
↓  
少ない

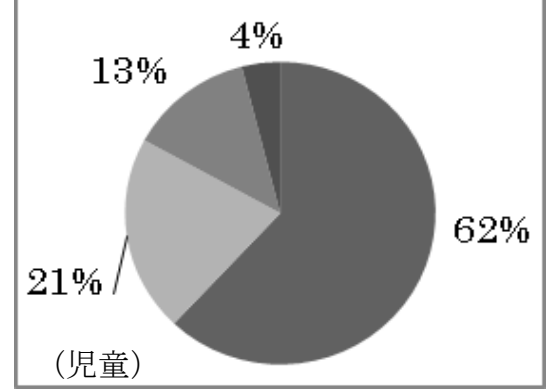
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だより・学級通信・学校ホームページなどで、学校の情報が保護者に伝わる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが授業の中で満足すること</li> <li>・子どもに学力がつくこと</li> <li>・子どもの家庭学習が習慣化していること</li> <li>・子どもがあいさつをすること</li> <li>・子どもが学校のきまりを守ること</li> <li>・子どもが楽しく学校に通うこと</li> <li>・子どもが思いやりをもつこと</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が学校行事(参観・懇談など)に参加すること</li> <li>・子どもが地域の行事に参加すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが運動をするなど健康な体をつくること</li> <li>・保護者が教職員に質問・相談しやすいこと</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに読書の習慣が身についていること</li> </ul>	

「できている」が増えました。

桂小の課題です。

少ない ← 重要だと思う → 多い

## 《家庭学習》



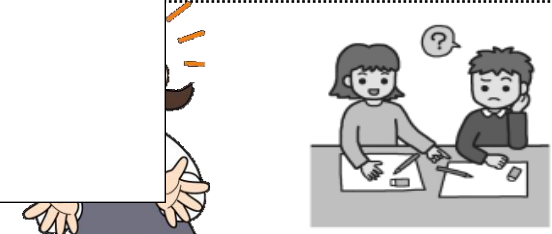
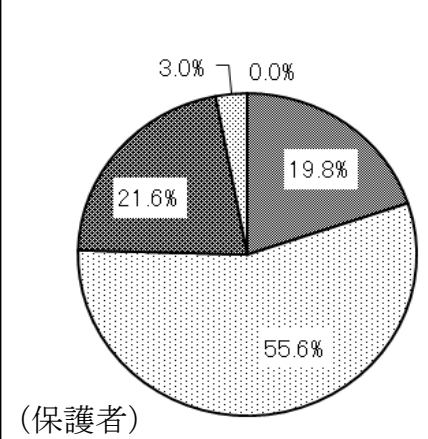
## 家庭学習について

毎日家庭学習をしていると自己評価している児童が、83%と昨年度後期より4ポイントも減少しました。基礎学力定着のためにも、その日の学習を振り返ったり予習をしたりすることは大切なことです。授業と家庭学習が連動したものとなるようさらに工夫していかなければなりません。また、すべきことを最後までやりきる指導をしていきます。

家庭学習が習慣として身に付いていると評価された保護者の方も75%と微減となって

家庭学習を習慣化することは、生涯にわたって続ける人になる上でも重要なこと。子どもたちが主体的に一定時間は取り組む量、指導法を今後さらに工夫したいと思います。

子どもの家庭学習が習慣化すること



## ～保護者評価から～

「担任の先生には信頼が厚く、子どもは喜んで学校に通っています」「学習の成果をほめていただいて自分からするようになってきました」「学習内容の質の高さに驚いています。自分も子どものときに受けたかった」「ホームページやおたよりで学校の様子がよくわかり、身近に感じます」というようなうれしい声があります。

課題としては、「あいさつがもっとできるようになってほしい」ということが多いです。これは数年来の願いであり、元気よくあいさつのできる子になるよう、家庭でも、地域でも、学校でもあいさつを当たり前にする指導をさらに連携して進める必要があります。

## ～学校運営協議会より～

- ・アンケートの回収率が高くなった。たくさんの方に答えていただいている。学校教育に対する関心の高さがうかがえる。
- ・教科の学習ができて社会に出てきまりや規則を守れないようではいけない。一般常識をもった大人になれるよう家庭を中心に、地域ぐるみで育てていきたい。

## 保護者の皆様へ

あいさつができる子に育てるため、大人が手本を示していきましょう。たより、ホームページなどを見て、それをもとに親子で会話を楽しみ、人とコミュニケーションがとれるように育てると、あいさつもできるようになると思います。桂の子をあいさつのできる子にしましょう。